

地域教育文化学部

地域教育文化学部は、地域における教育及び健康文化・芸術文化を構成する諸科学の教育・研究を通じて幅広い視野と探究心、豊かな人間性に基づいた責任感と倫理観を持ち、独創性と柔軟性をもって地域課題に取り組み、地域社会の自律的な発展に寄与する実践的な人材の養成を目的とします。

地域教育文化学部の求める学生像及び入学者選抜の基本方針は以下のとおりです。

◆求める学生像（3つのC）

- Challenge** : 広い視野に立って、新しいことに挑戦しようとする意欲のある人
- Cooperation** : 課題に積極的に取り組む行動力、他者を受け入れる包容力、社会性とコミュニケーション能力を備えている人
- Contribution** : 今日社会課題とその課題解決に強い関心があり、地域文化の活性化に貢献できる職業に就きたい意欲・情熱を持っている人

◆入学者選抜の基本方針

地域教育文化学部は、地域における教育及び健康文化・芸術文化を構成する諸科学について学び、広い視野と探究心、豊かな人間性に基づいた責任感と倫理観をもって地域の課題に取り組み、地域社会の自律的な発展に寄与する意欲をもった学生を受け入れます。

以上のような観点から、地域教育文化学科の各コースでは、具体的に次のような入学者選抜を実施します。

地域教育文化学科

（児童教育コース）

本コースでは、高等学校までの基礎的な学力・実技能力を身に付けて、学校・地域・家庭の連携と相互信頼関係の必要性を理解し、今日の社会の要請に応える高度な専門性を有する小学校教員を目指す意欲をもった学生を受け入れます。また、小学校教員に加えて、幼児や障がいのある子どもへの適切な指導を行うことのできる教員や、中学校5教科（国語、社会、数学、理科、英語）のいずれかの専門的知識を有する教員になることを希望する学生を受け入れます。

地域教育文化学科・児童教育コースの求める学生像及び入学者選抜方法は以下のとおりです。

◆求める学生像

- ・小学校教員を目指す人
- ・小学校教員免許に加えて、幼稚園、特別支援学校、中学校・高等学校5教科（国語、社会、数学、理科、英語、高等学校社会は地歴）のいずれかの免許取得を目指す人
- ・各教科にわたる基礎的な知識と探究心を備えている人
- ・地域社会における教育的支援・援助に対する意欲のある教員を目指す人
- ・子どもを受けとめられる包容力や寛容な心、他者とのコミュニケーション能力や協調性を有する人

◆入学者選抜方法

一般入試（前期日程）

大学入試センター試験では、5教科6科目又は5教科7科目の試験を課し、高校時代の基礎的な学力を総合的に評価します。個別学力検査としては、英語及び小論文を課します。英語では、本コースの修学に必要な基礎的な学力を検査します。小論文では、主に資料や文章を与え、基礎的な学力に加えて、内容の理解力と論理的思考力・表現力を総合的に評価します。

一般入試（後期日程）

大学入試センター試験では、5教科6科目又は5教科7科目の試験を課し、高校時代の基礎的な学力を総合的に評価します。個別学力検査としては、面接により、地域社会における教育・人間・文化に対する問題意識とその表現力や、本コース志望の動機と勉学意欲や教育に関する幅広い興味・関心等について総合的に評価します。

推薦入試 I

大学入試センター試験を課さず、推薦書、調査書、志望理由書の書類の他、面接（口頭試問を含みます。）により、地域社会における教育・人間・文化に対する問題意識とその表現力や、コースに関わる基礎的能力（教科に関わる基礎的学力、論理的思考力、読解力、表現力及びコミュニケーション能力など）、学習への意欲、関心及び適性を総合的に評価します。

社会人入試

大学入試センター試験を課さず、面接（口頭試問を含みます。）により、地域貢献に対する姿勢や、新たな教育的課題に挑戦しようとする意欲、関心、積極性、コミュニケーション能力とともにコースに関わる適性や、コースに関わる基礎的な能力等について評価し、合否を判定します。

（文化創生コース）

本コースは、地域社会の持続可能な発展を「こころ」と「からだ」の両面から支援し、市民の主体的な地域文化創生を支援する意欲をもった学生を受け入れます。そのために、高等学校までの基礎的な学力や、得意分野に関するすぐれた理解・技能を有して、地域文化のコーディネーター・ファシリテーターを目指す意欲をもった学生を受け入れます。

地域教育文化学科・文化創生コースの求める学生像及び入学者選抜方法は以下のとおりです。

◆求める学生像

- ・地域における健康支援や文化的活動に興味や関心のある人
- ・心理学、栄養学、食品学、スポーツ科学など心身の健康に貢献する学門分野に興味や関心のある人
- ・音楽、美術、デザインなど芸術文化に関する分野に興味や関心のある人
- ・保健体育科、音楽科、美術科の中学校・高等学校教員を目指す人

◆入学者選抜方法

一般入試（前期日程）

大学入試センター試験では、「文科系あるいは理科系で5教科6科目又は5教科7科目」、「実技系（美術）で4教科4科目又は4教科5科目」、「実技系（音楽）で3教科3科目又は3教科4科目」、「実技系（スポーツ）で5教科5科目又は5教科6科目」の試験を課し、高校時代の基礎的な学力を総合的に評価します。個別学力検査としては、「文科系あるいは理科系」で英語、化学、生物のいずれか1つの試験を課し、考察力・論理的思考力・記述力を総合的に評価します。「実技系」で美術・音楽・スポーツのいずれか1つの実技検査を行い、コースに関わる基礎的な実技の能力を評価します。

※「実技系」とは、美術、音楽、スポーツをいいます。「文科系あるいは理科系」とは、実技系（美術、音楽、スポーツ）以外をいいます。

一般入試（後期日程）

大学入試センター試験では、5教科6科目又は5教科7科目の試験を課し、高校時代の基礎的な学力を総合的に評価します。

個別学力検査としては、面接（口頭試問を含みます。）により、地域貢献に対する姿勢や、新たな課題に挑戦しようとする意欲、関心、積極性、コミュニケーション能力とともに、コースに関わる適性等を評価します。

推薦入試 I

大学入試センター試験を課さず、推薦書、調査書、志望理由書の書類の他、「文科系あるいは理科系」では、面接（口頭試問を含みます。）によって、地域貢献に対する姿勢や新たな課題に挑戦しようとする意欲、関心、積極性、コミュニケーション能力とともに、コースに関わる適性等を評価します。「実技系」では、面接（口頭試問を含みます。）と実技検査（美術、音楽、スポーツから1つを選択します。）によって、コースに関わる適性等を評価します。

A O入試 I

実技系（美術・音楽・スポーツ）志願者を対象とします。大学入試センター試験を課さず、第1次選抜では、書類選抜により、高校時代の学業や課外活動の記録について評価し、これらを総合して合否を判定します。

第2次選抜では、面接（口頭試問を含みます。）と実技検査（美術・音楽・スポーツから1つを選択します。）により、課題に挑戦する積極的な姿勢や基礎的な実技の能力について、大学のA O入試担当者が訪問して総合的に評価し、合否を判定します。

社会人入試

実技系のうち美術と音楽について実施します。大学入試センター試験を課さず、実技検査及び面接（口頭試問を含みます。）により、地域貢献に対する姿勢や、新たな課題に挑戦しようとする意欲、関心、積極性、コミュニケーション能力とともにコースに関わる適性や、コースに関わる基礎的な実技の能力等について評価し、合否を判定します。